



**MX20/MX21**

使用說明書



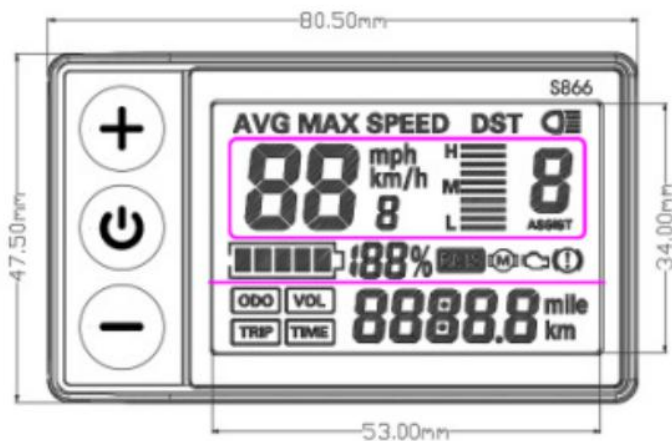
# LCD-S866 ハンドコントロールパネル操作手順

MX20 および MX21 電動自転車に適しています

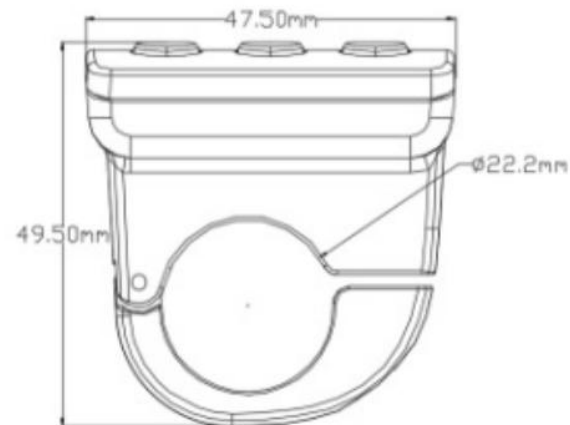


## 1.見かけのサイズと素材

製品のシェルは ABS で、液晶透明窓は強化ガラスと同等の硬度を持つ高硬度のアクリルを輸入しています。



立面図



側面図

## 2.動作電圧と接続モード

2.1 動作電圧：DC24V、36V、48V、60V の互換性（機器選択設定）、その他の電圧はカスタマイズできます。

2.2 接続モード：ラベルコネクタのラインシーケンス



コントローラに接続



メーター出口端



ターミナルへ

注：一部の製品のリード線は防水コネクタを使用しており、ユーザーはワイヤーハーネスの色を見ることができません。

## 3.機能の説明

3.1 表示機能：速度表示、パワーインジケータ、故障表示、総走行距離、シングル走行距離。

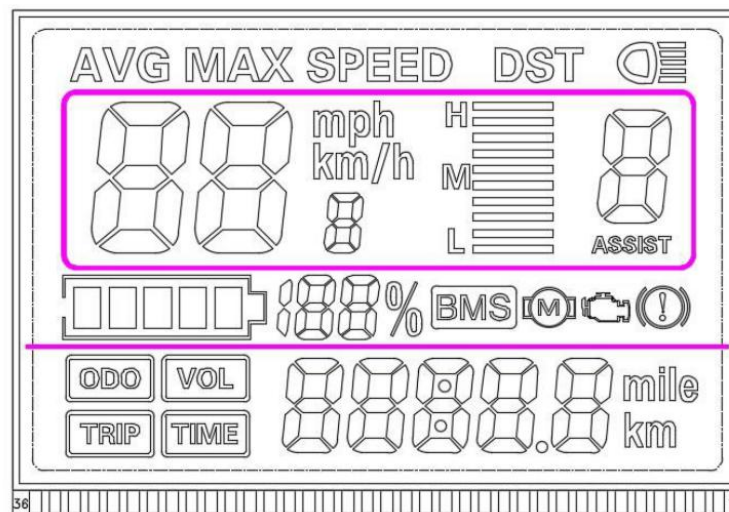
3.2 制御、機能の設定

電源スイッチ制御、ホイール径設定、アイドル自動休止時間設定、バックライト輝度設定。

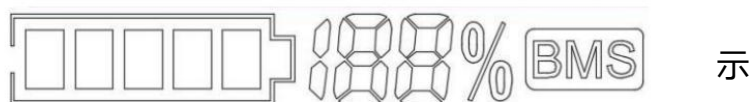
始動モード設定、駆動モード設定、電圧レベル設定、コントローラ制限値設定。

3.3 通信プロトコル

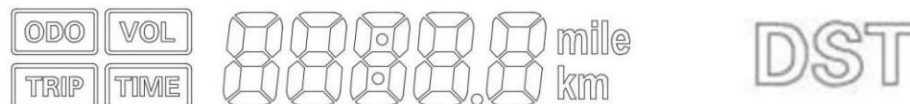
画面の内容全体を表示する (ブート 1S でのフル表示)



### 3.3.1 バッテリー電力と BMS 残留電力の表

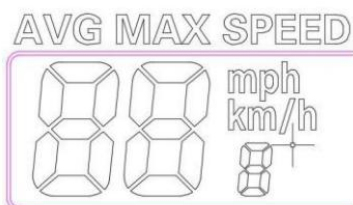


### 3.3.2 多機能表示領域



ODO: 総走行距離; 旅行: 片道マイレージ (単位: マイル、キロメートル) ; 時間: 単一の電源投入時間。 VOL: バッテリー電圧; DST: 耐久性

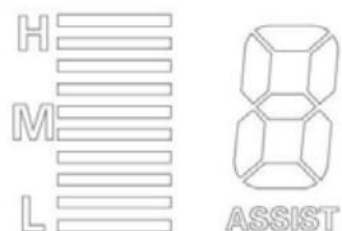
### 3.3.3 速度表示領域



AVG: 平均速度、MAX: 最大速度、SPEED: 現在の速度 (mph、km / h)

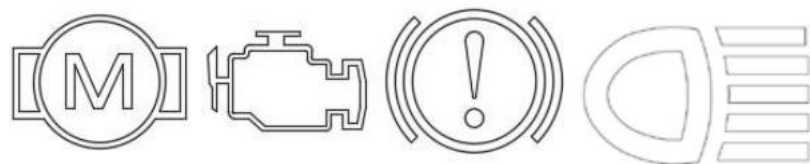
速度信号は、モーターのホール信号から取得され、コントローラーによって機器に送信されます。(単一ホール期間の時間、単位: 1MS) 機器は、ホイールの直径と 信号データ (モーターホールに必要な磁性鋼の数)

### 3.3.4 車両のパワーギア調整、



0-9 デジタル表示およびファイルバー表示。

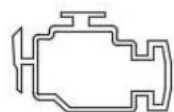
### 3.3.5 車両状態表示エリア



モーターの故障;



ブレーキチップ



failure ;



プロンプトのヘッドライト



## 4.設定

P01: バックライトの明るさ、レベル 1 が最も暗く、レベル 3 が最も明るい。

P02: 走行距離単位、0: KM; 1: マイル;

P03: 電圧レベル: 24V、36V、48V、60V、64V デフォルト 36V;

P04: 休眠時間: 0、休眠ではありません。他の数値は休眠時間、範囲: 1-60 です。単位分;

P05: ヘルプファイルビット: 0、3 ファイルモード: 1、5 ギアモード;

P06: ホイール直径: 単位、インチ;精度: 0.1;

このパラメーターはメーターの表示速度に関連しており、正しく入力する必要があります。

P07: スピードゲージ磁性鋼番号: 範囲: 1-100;

このパラメーターはメーターの表示速度に関連しており、正しく入力する必要があります。

通常のハブモーターの場合、磁性鋼の直接入力。

高速モーターの場合は減速比も計算する必要があり、入力データ = 磁性鋼数×減速比、

例: モーター磁石の数 20、減速比 4.3: 入力データは次のとおりです:  $86 = 20 \times 4.3$

P08: 制限速度: 範囲 0-100km / H、100 は制限速度がないことを意味します。

ここでの入力データは、車両の最大動作速度を表します。たとえば、入力 25 は、車両の最大動作速度が 25km/h を超えないことを示します。

駆動速度は設定値に維持されます。

エラー:  $\pm 1$ km / h; (パワーとステアリングの制限速度)

注: ここでの値はキロメートルに基づいています。単位設定をキロメートルからマイルに変換すると、表示インターフェースの速度値は自動的に正しいマイル値に変換されますが、マイルインターフェースの下のこのメニューで設定された制限速度値は変換されません。マイル速度の実際の制限速度と矛盾しています。

注: P09-P15 メニューは通信状態でのみ有効です

P09: ゼロスタート、非ゼロスタート設定、0: ゼロスタート; 1: ゼロ以外の開始。

P10: ドライブモードが 0 に設定されています: パワードライブ (出力される電力量はパワーファイルビットによって決定され、スイッチは無効です)。

1: 電気駆動 (パワーファイルビットが無効な場合、ハンドルドライブを回して)。

2: パワードライブとエレクトリックドライブの共存

P11: ヘルプ感度設定範囲: 1-24;

P12: 強度設定範囲の開始を支援: 0-5;

P13: パワー磁性鋼ディスクタイプ設定 5、8、12 磁性鋼タイプ

P14: コントローラ制限値設定デフォルト 12A 範囲: 1-20A

P15: コントローラの電圧が不足しています

P16: ODO ゼロ設定長さキー押し 5 秒 ODO ゼロ



P17: 0: クルージングを有効にしない、1: クルージングを有効にする。オプションの自動クルーズ (プロトコル 2 でのみ有効)



P18: 表示速度比調整範囲: 50%~150%




P19: 0 パワービット、0: 0、1: 0 を含まない



P20: 0: 2 プロトコル 1: 5 S プロトコル 2: スタンバイ 3: スタンバイ





## 5.キー操作の紹介



**5.1** シャットダウン中、 キーを長押しすると起動します。起動後、 キーを短く押し、ODO、TRIP、VOL、TIME 間のインターフェース切り替え。

**5.2** 起動状態、 キーを長押し、 キーを短押し、ヘルプファイル+1、 キーを短押し、ヘルプファイル-1。

**5.3**  キー +  キーを長押ししてモード設定に入ります

パラメータ値の変更: パラメータ状態で  キーを短く押すパラメータを切り替え、 キーを短く押す値を大きくする  キーを短く押すと値が小さくなり、変更する場合は  キーを短く押す次のパラメータに切り替える 前のパラメータ値を保存します。

パラメータを変更し、もう一度長押しします。



キ - +



キーを長押し設定インターフェースを終了します。 そうでない場合は、8秒待つて自動的に終了し、パラメータを保存します。

**注： 同社製品のアップグレードにより、製品セクションの内容が仕様と異なる場合がありますが、通常の使用には影響しません。**

